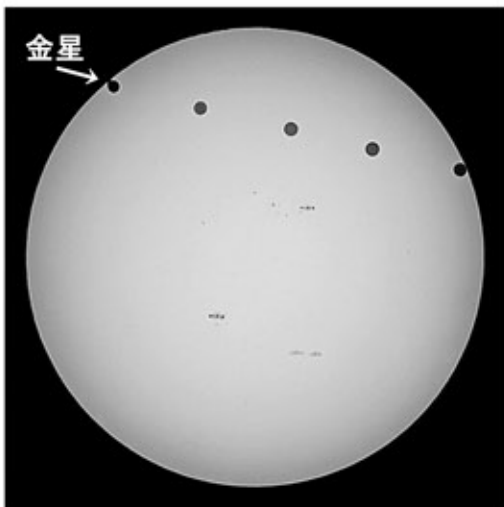




天文台だより

銀河の森天文台
2012 夏号
Vol.56



6月6日、金星の太陽面通過を観測！

2012年6月6日(水)、金星が太陽の前を通過する現象「金星の太陽面通過」が2004年6月以来8年ぶりに日本全国で見られ、銀河の森天文台でも観測することができました。当日は午前中から開館し、平日にも関わらずたくさんの来館者が太陽望遠鏡や日食メガネで金星の様子を観察しました。

金星は、午前7時10分頃太陽の北東側から前に入ってきて、午前10時29分頃最小角距離になりました。その後、だんだんと西に移動し、午後1時47分に太陽面から出ました。左の写真は、金星が太陽の前に完全に入った第2接触から、第3接触までの金星の移動の様子です。黒丸で写っているのが金星です。次回この現象が見られるのは、105年後の2117年12月11日になります。

「金星の太陽面通過」
(左から、7:28、9:00、10:33、12:00、13:30撮影)

7月7日(土)、陸別スターライトフェスティバル開催！

銀河の森天文台は、1998年7月7日にオープンしました。この開館日に合わせて、今年も7月7日(土)に陸別星祭り「第4回陸別スターライトフェスティバル」を下記の内容で開催します。是非ご来館下さい。

またこの日は開館時間を24時まで延長し、来館者が持ち寄った望遠鏡と合わせて賑やかに星空を楽しむことができます。望遠鏡をお持ちの方は是非ご持参下さい。

開催日時：2012年7月7日(土) 14時～24時

参加方法：予約不要(入館料のみ)

※陸別町民は無料です！

プログラム

19時 開催挨拶

19時15分～ 講演会

柴田一成 京大花山天文台長

「爆発だらけの宇宙と太陽

～我々はなぜ生まれたのか?～」

20時30分～ アイリッシュミュージックコンサート

らぶらぶBAND:2組の夫婦による楽しい演奏

※天体観望会は常時開催



「館長コラム」上出洋介(牡牛座)

もう半分は済んだとはいえ、今年には実に多くの宇宙ビッグイベントがあります。金環日食を筆頭に、火星大接近、金星の太陽面通過、月の木星面通過、月と木星の接近、金星食、皆既日食(ケアンズ)と、天文ファンならカラダがもたないくらいです。これらはすべて、力学現象ですから、場所や時間が何年も前から予測できます。たとえば、2030年6月1日、北海道で金環日食が見られます。

今年の当館オープン記念講演には、柴田一成教授(京都大学花山天文台長)をお招きしています。世界の太陽科学をリードする研究者です。柴田教授と私が旗ふりになり、太陽と地球の研究をドッキングさせた「宇宙天気の研究」という5年プロジェクトを実施し、「総説 宇宙天気」という教科書を出版しました。銀河の森天文台は、りくべつ宇宙地球科学館という名前ももっていますので、太陽を夜空の恒星の一つと見るか、地球のエネルギー源と見るか、この講演にふさわしい場所です。



(上出洋介館長)

6月4日、部分月食を観測！



6月4日(月)の夜、太陽-地球-月が一直線に並び、月の一部が地球の陰に隠れる「部分月食」が起きました。月食は、午後7時頃から欠け始め、午後8時4分に食の最大(食分0.38)となり、午後9時6分に終わりました。左の画像は、食が最大になった時のものです。

暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
7月 1日	3:44	19:14	11.5	16:26	1:04
7月 15日	3:54	19:08	25.5	0:25	15:50
8月 1日	4:11	18:51	12.9	17:48	3:02
8月 15日	4:26	18:32	26.9	1:44	16:41
9月 1日	4:45	18:04	14.5	17:52	5:22
9月 15日	5:01	17:39	28.5	3:50	16:45

天文行事&暦

7月

- 1 水星が東方最大離角
(光度:0.5等, 離角:25° 45')
- 4 ○満月
- 7 小暑(24節気:太陽黄経105°)
- 7 陸別スターライトフェスティバル
- 13 金星が最大光度(-4.8等)
- 15 木星食(12:51潜入、13:56出現)
- 19 ●新月
- 22 大暑(24節気:太陽黄経120°)
- 26 陸別町民コンサート

8月

- 2 ○満月
- 7 立秋(24節気:太陽黄経135°)
- 11, 12 ペルセウス座流星群観望会
- 12 ペルセウス座流星群が極大
(PM9時 最大50個/時)
- 13, 14 天文台特別開館
- 14 金星食(2:48潜入、3:51出現)
- 15 金星が西方最大離角
(光度:-4.3等, 離角:45° 48')
- 16 水星が西方最大離角
(光度:0.1等, 離角:18° 42')
- 18 ●新月
- 23 処暑(24節気:太陽黄経150°)
- 25 海王星が衝(7.8等, 視直径2" .4)
- 31 ○満月

9月

- 7 白露(24節気:太陽黄経165°)
- 14 陸別町民コンサート
- 16 ●新月
- 22 秋分(24節気:太陽黄経180°)
- 29 天王星が衝(5.7等, 視直径3" .7)
- 29, 30 名月観望会
- 30 ○満月 中秋の名月



☆名月観望会

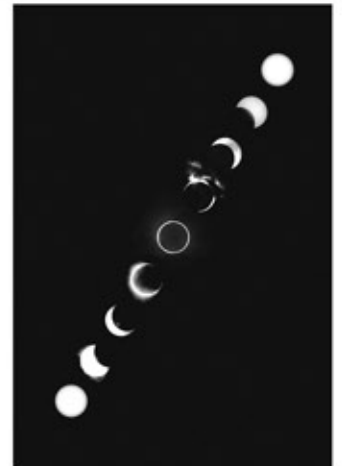
今年は9月30日(日)が中秋の名月になります。秋の夜長、お月見はいかがでしょう。

開催日時: 9月29日(土)、30日(日)

説明会: 午後7時30分から

「金環日食」

5月21日、今年最大の天体ショーである金環日食を東京世田谷の実家屋上にて観測しました。早朝からスタンバイして撮影に望んでいましたが、とにかく雲の多い天候で金環日食が見られるかどうか微妙な天候でしたが、それでもなんとかお天気もってくれて、午前7時34分見事な黄金のリング、金環日食を見ることができました。食の最大時刻には辺りが少し薄暗くなり、夕方のような異様な光景でした。また朝早い時間にもかかわらず、あちこちで日食を眺める人の姿が見え、歓声が上がっていました。次回2030年6月1日には北海道で金環日食が見られます。(寛)



天文台からのお知らせ

☆ 8月13日、14日は、月・火曜日ですが、特別開館いたします。

夏のイベント情報 !!

☆ペルセウス座流星群観望会

ペルセウス座流星群が8月12日の午後9時に極大時刻を迎え、これを前後して流星が多く見られると予想されるため観望会を開催します。

開催日時: 8月11日(土)、12日(日)

説明会: 午後7時30分から

天文台日記 - 「手作りソーラースコープ」 -

今年も天文台のメンテナンス休館中に、りくり望遠鏡の鏡をみがく様子や太陽望遠鏡の様子を陸別小学校の子供たちを対象に特別公開しました。いつもと違う天文台で大型望遠鏡の鏡をみがいている様子を前に子供たちは真剣な表情でした。また今年も、部分日食の日も間近だったので、参加した子供たちとソーラースコープのワークショップも行いました。小さく開いた穴から太陽の光を通し、太陽の姿をスクリーンに映して観察するピンホール式の望遠鏡です。直接肉眼で太陽を見ることはないので安全です。子供たちは大型望遠鏡を見学しているときよりも緊張がやわらいだようで、にぎやかで楽しいワークショップになりました。さて、手作りのソーラースコープで部分日食を観察できたでしょうか? (榊)



発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館 (銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: ginga@rikubetsu.jp